

様々な都市の今という時間の中で繰り返される日常と生活。そこに於いて自分はいつも、辿り着きまた過ぎ去る他所者だ。旅しているのはカメラで、自分はその付属品のようなものかも知れない。そう錯覚するほどに、街との距離はいつも一定だった。他所者から見る街の日常は、騒めきと煌めきで出来ているようだった。移ろいゆく時間、限られた時間の中から、心が騒つくような感覚を拾い集めようとする旅で巡り会った、ある街の5日間の光と影。

市橋織江写真展「TOWN」

2018.1.6(土) → 4.8(日) 入江泰吉記念 奈良市写真美術館



Orie Ichihashi

TOWN

4.1(日) 14:00

市橋織江×百々俊二
(奈良市写真美術館)
ギャラリートーク

展示会場にて
(要観覧券)